

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年2月2日時点)

▶ **ウクライナ軍が南部及び東部の露軍への反撃を継続する一方、露軍は東部ドネツク州における占領地拡大に向けた作戦や各地の民生インフラに対する攻撃を継続している模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: **死者5937人**(ショイグ国防相発言22年9月21日)

: **死者約12万7500人**、戦車3201両、装甲車両6378両(「ウ」国防省1月31日)

: **死傷者約18万人**(クリストファーセン・ノルウェー軍参謀総長1月22日)

「ウ」軍: **死者最大約1万3千人**(ポドリャク「ウ」大統領府長官顧問22年12月1日)

: **死傷者推定10万人以上**(クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)

「ウ」市民: **死者7110人以上、負傷者1万1547人以上**(OHCHR1月30日)

※米国は、22年8月8日の評価以後、露軍の損害に言及せず(「ウ」軍の損害への言及はこれまでなし)

「ウ」国防省情報総局は、ベラルーシ領内に**露地上部隊5800人のほか、露軍「イスカンデル」地対地ミサイル1個大隊、S-300・S-400地对空ミサイル及びMiG-31戦闘機3機**が所在していると発表(1月25日)

- 露軍は、「キンジャル」ALBM(空中発射型弾道ミサイル)を含む**ミサイル70発**(うち47発撃墜)及び**UAV18機**(全機撃墜)により「ウ」各地の**インフラを攻撃**(1月26日)
- イフナート「ウ」空軍報道官は、**露軍の「キンジャル」ALBMは少数しかいないため、露軍は最重要の戦略目標**(キーウ及び同市のインフラ)を攻撃するために**同ミサイルを節約**している旨発言(1月26日)

「ウ」軍タヴリダ(ザポリッジャ州・ヘルソン州)方面隊広報は、**露軍がザポリッジャ方面において戦力を増強している**旨発表(1月26日)

アンドリュースチェンコ・マリウポリ市長顧問は、**露軍がコンクリート製対戦車障害物、装備品及び兵員をロシア領内からベルジャンスク方面へ輸送**している旨発言(1月28日)

露国防省系メディアは、「**特別軍事作戦**」の後方地域に派遣するため、**スポーツ選手やサッカーファンからなる「モスクワ」義勇兵大隊を訓練中**である旨報道(1月25日)



ポーランド「ジェンニク・ガゼータ・プラウナ」紙は、同国政府関係者の話として、米国のF-16供与と引き換えに「ポ」のMiG-29戦闘機の「ウ」への供与の可能性が取り沙汰されていた**22年春、「ポ」が分解したMiG-29戦闘機をスペアパーツ名目で「ウ」に提供**していた旨報道(1月25日)

ゼレンスキー大統領は、英テレビ局「スカイニュース」のインタビューにおいて、**領土奪回に向けた攻勢作戦のために300両から500両の戦車が必要**である旨発言(1月27日)

- 主要都市
- ✈️ 主要軍施設
- 🔥 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 👉 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 👈 ウクライナ軍が奪還した地域